

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	当別町			代表者名	後藤正洋
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画部デジタル都市推進課	連絡先電話番号	0133-23-3767
担当者役職	主幹	担当者氏名	碓井洋寿	連絡先E-mail	
住所	061-0292 北海道当別町白樺町58番地9				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	当別町デジタル関係人口及び雇用創出事業
概要	当別町において、デジタル技術を活用した関係人口創出と企業誘致や雇用促進を図るために、テレワーク、ワーケーション、アイデアソンの導入手法を学び、当別町での実施に向けての支援を求める。		
支援を求める分野	働き方 テレワーク		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月3日	事前打合せ(オンライン)	9時30分	11時05分	
				活動時間（分）	95
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上前 知洋		
評価	大変良い		
上記評価の理由 （どのようなところがよかったか等詳細に）	アドバイザー上前氏の立科町でのアイデアソン、ワーケーション等の具体的な経験をもとに、工夫するポイントや運営方法などについて具体的なアドバイスをいただいた。特に、アイデアソンの参加者募集については、喫緊の課題であったため、周知方法の事例や効果的な手法等をアドバイスいただけたことで今後の対応策がイメージできた。		
アドバイザーへの要望事項	特になし		

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	2人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	2	0	0
			0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	北海道医療大学の移転により、学生数の減少が予想され、地域の活性化やボランティア活動の担い手不足が懸念されている。大学移転後の跡地利用が未定であり、地域の経済やコミュニティに影響を与える可能性がある。 地域経済の活性化の1つの取組としてアイデアソンを企画しているが、喫緊の課題としてアイデアソンの初回開催において、参加者を集めることが難航している。 地元の高校生や大学生の参加を促進するための広報活動が必要。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	当別町における住民の雇用創出と地域経済の活性化を図る。 成果の過程として、短期的には、アイデアソンの参加者募集を強化し、提案されたアイデアが実際に事業化されることを明確にすることで、参加者の動機付けを図る。 高校生や大学生の参加を促進し、地域の課題解決に向けたアイデアを集める。 企業向けのエンゲージメントプログラムを提供し、企業のニーズに応じたワーケーションを実施する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	■アイディアソンの参加者募集 参加者の動機付けとして、提案されたアイディアが実際に事業化されることを明確にすることが重要。これにより、学生や社会人の関心を引きやすくなる。初回のアイディアソンでは参加者集めに苦労することが多い。近隣の大学や専門学校に直接出向いて、ゼミ単位での参加を促すことが効果的。高校生の参加も検討する価値がある。高校生は課題意識が高く、優秀なアイデアを出すことがある。 ■アイディアソンの運営 メンターの役割を明確にし、参加者が効率的にメンターにアクセスできるようにする。例えば、メンターに質問するためのカード制を導入することで、質問の質を高める。 ■ワーケーションの実施 ワーケーションの成功には、企業が求めるプログラムを提供することが重要。企業のニーズに応じたエンゲージメントプログラムを用意する。 ■広報とドキュメンタリー動画 アイディアソンの広報には、過去のイベントのドキュメンタリー動画を活用することが効果的。これにより、参加者がイベントの雰囲気を理解しやすくなる。SNSやチラシを活用して、広く情報を発信することが重要。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	アイディアソンの参加者の動機付けとして、提案されたアイディアが実際に事業化されることを明確にすることの重要性を理解し、広報の改善につながった。 アイディアソン運営の具体的なポイントをアドバイスいただき、今後のイベント開催に向けたタスクが明確になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	アドバイスをもとにアイディアソンの広報を改善する。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。 次回の支援では、実際に町の状況を現場で確認いただき、より具体的で実践的な支援をいただく予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 特になし。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	直近の計画として、発展的かつ持続可能なまちづくりに向け、当別町の未来に向けた課題をビジネス視点で解決するためにアイディアソンを成功させる。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	当別町内において企業のワーケーションやテレワークの実績を作り、住民の雇用創出と地域経済の活性化を図る。 この事業の結果、安定雇用の確保、生活基盤の強化、新たな人脈やスキル向上による自己成長などにより、住民の生活にさまざまな形でポジティブな影響を与え、地域コミュニティ全体の幸せに寄与することを目指す。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		
  		